



第2回 野口英世アフリカ賞 受賞記念講演会



6月4日(火) 会場:国連大学(東京)
14:30~16:30

第2回野口英世アフリカ賞受賞者による、記念講演会を開催します



ピーター・ピオット博士

「国際保健の新旧の挑戦」

ピーター・ピオット博士 / ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院学長

「研究室から村まで - HIVの研究を何百万もの人々への医療保健サービスに役立てる」

アレックス・G・コウティエノ博士 / マケレレ大学感染症研究所所長



アレックス・コウティエノ博士

6月4日(火) 14:30~16:30

(入場無料/日・英同時通訳有り)

会場:国際連合大学 ウ・タントホール

東京都渋谷区神宮前5-53-70

電話 (03)5467-1212

パネリスト 黒川 清 野口英世アフリカ賞委員会座長
デイビッド・マローン 国連大学学長
春日文子 日本学術会議副会長



参加登録用ホームページ(国際連合大学ホームページ)とお問い合わせ

参加の登録は国際連合大学ホームページよりお願いします:<http://unu-mc.org/civcrm/event/register?id=133&reset=1>
インターネットをご利用できない場合は、以下の連絡先までお電話下さい。

お問い合わせ:内閣府 野口英世アフリカ賞担当室

電話(03)5501-1745 メール:g.noguchi-prize@cao.go.jp

ホームページ:<http://www.cao.go.jp/noguchisho/index.html>

主催:内閣府 共催:国際連合大学 日本学術会議 後援:外務省 文部科学省 厚生労働省

第2回野口英世アフリカ賞の受賞を記念して、 世界で活躍する感染症のスペシャリストである 受賞者による講演会を開催します。

6月4日(火) 14:30 開始 16:30 終了

第2回野口英世アフリカ賞受賞者である、ピーター・ピオット博士(医学研究分野)とアレックス・G・コウティーノ博士(医療活動分野)による講演と、パネルディスカッション(質疑応答含む)が行われます。

アフリカにおける感染症研究と戦い続ける、両博士から直接話を聞くことができる貴重な機会ですので、是非ご参加下さい。申込みは国連大学のサイトからお願いします。

◆ パネリスト

ピーター・ピオット博士／アレックス・G・コウティーノ博士／黒川 清 野口英世アフリカ賞委員会座長／デイビッド・マローン 国連大学学長／春日文子 日本学術会議副会長



第2回野口英世アフリカ賞受賞者について



■ 医学研究分野 受賞者

ピーター・ピオット博士

ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院学長



■ 医療活動分野 受賞者

アレックス・G・コウティーノ博士

マケレレ大学感染症研究所所長

「研究」ととどまらない幅広い活躍による エイズ死亡率の低下への貢献

ピオット博士とアフリカの感染症との戦いは、1976年ザイル(現コンゴ民主共和国)で始まります。博士とそのチームは、ベルギーの研究所へ送られてきた血液サンプルの中から、集団感染で現地を震撼させていたエボラ出血熱のウィルスを発見しました。その後も博士は、HIV/エイズの母子感染、結核との重感染などの研究、アフリカ初の国際HIV/エイズ研究プログラムの立ち上げなど、大きな成果をあげています。また特筆すべき成果として、研究にとどまらず、国連エイズ合同計画(UNAIDS)の事務局長を務めたことや、世界エイズ・結核・マalaria対策基金の設立などを通じ、HIV/エイズの「研究」と、国際的な「政策」を結び付け、アフリカでのエイズ死亡率や新規のHIV感染率の低下に大きく貢献したことが挙げられます。

世界規模でエイズ対策に影響を与えた コウティーノ博士のモデル

コウティーノ博士は、HIV/エイズに対する偏見が根強い時代から、自ら何千人ものHIV/エイズ患者の治療を行うと共に、HIV感染者が治療を受ける機会を増やす努力を行ってきました。アフリカで最も古いエイズ患者支援団体であるTASO(エイズ支援機構)と共に現場で活動し、HIV/エイズの予防、治療・ケアの仕組みを構築し、アフリカで広く適用できるモデルとして普及させ、HIV/エイズの患者や家族、コミュニティに大きな力を与えました。アフリカの最貧困層のニーズに焦点を当て、長い間医療が行き届かなかった人々に対しHIV/エイズの治療・ケア及び支援を施すことに成功しました。更に博士はこのモデルを使い、抗レトロウイルス療法をウガンダに普及させました。このモデルは現在世界的に広がり、貧困者の居住地域での治療を可能にしています。

野口英世アフリカ賞について

— 野口博士の志を受け継いで —



© 公益財団法人野口英世記念会

野口英世アフリカ賞は、野口博士(1876-1928)の志を引き継ぎ、アフリカのための医学研究・医療活動それぞれの分野において顕著な功績を挙げた方々を顕彰する賞です。賞を通じて、アフリカに住む人々、ひいては人類全体の保健と福祉の向上を図ることを目的としています。